

大会宣言

新座市のお母さん、女性のみなさん、男性のみなさん
新座母親大会は、今年で42回目を迎えることができました。

今年8月、第62回日本母親大会が金沢・福井で開かれ、全国から一万人近い人たちが集まりました。「子どもたちを核戦争から守ろう」というスローガンのもとに始まった母親大会は、さらに広く、平和・くらし・教育・環境・男女平等などへ問題がつながる一大女性運動として発展しています。

最近「女性の貧困」と「子どもの貧困」が社会問題化しています。今、子どもの6人に1人は相対的貧困状態にあると言われ、シングルマザーはもちろん、子どもを育てる環境・条件は厳しくなっています。長引く不況で国民生活は大変です。非正規雇用・不安定雇用の若者が将来に希望が持てず、夢や結婚をあきらめざるを得ない現状もあります。

国民から集めた年金を投資に使い、大損をしている国の実態も明らかです。消費税10%への引き上げなど、とんでもありません。不況の泥沼となる不公平税制はきっぱり中止させましょう。私たちの暮らしを守る政策を国・地方自治体に強く求めます。

教育の分野では、現在、小学校1、2年生で35人学級が実現しています。しかし、3年生以上は40人学級のままです。私たちは、30人学級の完全実施を早期に実現するように運動を進めていきます。

今年は台風被害が北海道へも及び、温暖化現象は年々進みます。東日本大震災から五年半、復興はなかなか進みません。原発も国民の世論を押し切って九州の川内原発が再開されました。地震国の日本、原発の再稼働は許せません。

世界では、平和で公正な社会を求めらうねりが高まっています。世界の人々の願いは、戦争も核兵器もない平和な世の中に暮らすことです。その中でもわが国の日本国憲法第九条は、「戦争放棄」を理念として輝いています。私たちは草の根から憲法を守り発展させる運動を、これからも進めていきます。子どもたちに平和と明るい未来を手渡したい、それが私たちの切なる願いです。憲法を深く学び、国、県、新座市にその精神を生かした政策を実施するよう要求していくことが急務です。

生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます。

女性も男性も生き生きと働き、豊かな生涯を過ごせるよう運動を進めていくことを新座母親大会の名で宣言します。

2016年10月2日

第四十二回新座母親大会